

後遺症の治療と仕事の両立の観点から、企業の後遺症への理解を深める一環として、経営者や企業の人事労務担当者を対象としたリーフレットを作成

主な内容

- 働く方に見られる症状例
 - ✓ チェックリストやイラストで職場で発生している例を掲載
- 職場における支援の流れとポイント
 - ✓ ステップごとに本人が行うことと職場が配慮することを明示
- 職場における配慮事例
 - ✓ 職場での配慮内容例を紹介
- 公的支援制度・相談機関

➤ **東京iCDC専門家による解説動画を掲載**
(QRコードにより視聴)

周知先等

- 企業関係団体※を通じて加盟企業等に周知
 - ※ 東京商工会議所、東京都商工会連合会、東京都中小企業団体中央会、東京都経営者協会
- 都のホームページにおいても本日より掲載

いつでも当てはまる 場合、それは

新型コロナの後遺症

かもしれません。

新型コロナに感染後、職場で以下のような状況になっている方はいませんか？

CHECK!

- 常に体がだるいなどの症状を訴えるようになった
- 少し体を動かしただけで疲れやすくなった
- 朝起きられず、通勤に時間がかかるようになった
- 仕事でのミスが多くなった
- 予定を忘れるなど、物忘れが激しくなった

● 後遺症は年齢や性別、基礎疾患の有無などにかかわらず、新型コロナに感染した全ての方に起こる可能性があり、中には症状が重くなることや長期間継続する場合があります。

● 症状は時間の経過とともに改善する傾向がありますが、無理をすると悪化することもあり、後遺症に悩む方の状況に応じて適切に支援していく必要があります。

後遺症とは？ 職場での支援の流れ [中面へ →](#)

相談機関等 [裏面へ →](#)

目的 新型コロナウイルス後遺症に関する更なる理解や情報共有の観点から、**最新の研究内容や診療に係る知見**のほか、後遺症に悩む患者への**職場復帰支援のアプローチ**に関する情報を提供

日時 令和5年6月25日（日）14:30～16:30（14:00 配信開始）

形式 Web開催（オンラインによるライブ配信）

対象 医師、看護師、薬剤師などの医療従事者等

申込者数	1,261名
（主な内訳）	
医師	672名
薬剤師	267名
看護師	171名

プログラム（予定）

1 開会挨拶 賀来 満夫 先生 東京iCDC所長 東北医科薬科大学 医学部 特任教授 東北大学 名誉教授

2 発表

① 海外における罹患後症状の状況アップデート

小坂 健 先生 東京iCDC 後遺症タスクフォース座長 東北大学大学院 教授

② 新型コロナウイルス感染症の罹患後症状の現状

森岡 慎一郎 先生 国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター 国際感染症対策室 医長

③ 罹患後症状と産業医学的アプローチ

立石 清一郎 先生 産業医科大学 災害産業保健センター 教授

五十嵐 侑 先生 産業医科大学 災害産業保健センター 講師

3 質疑応答